

2016年12月〜2017年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

全国書店員の投票で選ばれたベスト10



2018年本屋大賞

大賞

2位 『盤上の向日葵』

柚月裕子(中央公論新社)

3位 『屍人荘の殺人』

今村昌弘(東京創元社)

4位 『たゆたえども沈まず』

原田マハ(幻冬舎)

5位 『AXアックス』

伊坂幸太郎(KADOKAWA)

『かがみの孤城』

辻村深月(ポプラ社)

6位 『騙し絵の牙』

塩田武士(KADOKAWA)

7位 『星の子』

今村夏子(朝日新聞出版)

8位 『崩れる脳を抱きしめて』

知念実希人(実業之日本社)

9位 『百貨の魔法』

村山早紀(ポプラ社)

10位 『キラキラ共和国』

小川糸(幻冬舎)

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。